

# 第124回勉強会「ジオラボ」のご案内

主催:(公社)地盤工学会九州支部／長崎地盤研究会

共催:長崎県測量設計コンサルタント協会 後援:長崎県技術士会

※本勉強会は、オンラインで開催いたします。(学会の指示により、対面は行いません)

日 時:令和2年12月13日(金)14:30~17:30

会 場:「ZOOM」を用いたオンライン会場

<https://zoom.us/j/93324742789?pwd=SE9wSi9sV2krTld1citGTHZ3Z2Q2dz09>

参 加 費: 無料(資料等の配布は行いませんので、ご了承願います。)

話題提供:14:30~17:00(①:14:30~15:30／②15:30~17:00の予定)

## ①“長崎メソッド”(長崎におけるインフラ維持管理のしくみ)の海外展開

西川 貴文 先生(長崎大学大学院 総合生産科学域(工学系))

概要:社会基盤の開発・整備が優先課題である開発途上国においても、維持管理の重要性が認知されつつあり、維持管理能力の強化に向けて、日本の経験に世界中の開発途上国の期待が寄せられています。なかでも、早くから体系的な維持管理の確立に取り組み、計画的にインフラの長寿命化を進めている長崎の維持管理のしくみは、“長崎メソッド”と称され、グッドプラクティスとして多くの開発途上国から注目を集めています。本講演では、開発途上国におけるインフラ維持管理の現状と、長崎メソッドの海外展開の事例を紹介します。

## ②令和2年7月豪雨による福岡県内の斜面災害とその特徴

押川 英夫 先生(佐賀大学 教育研究院)

概要:令和2年7月豪雨では九州の広い範囲で地盤災害が発生しました。福岡県では特に筑後南部地域で比較的長期間の降水における記録的豪雨となり、地すべり、土石流的斜面崩壊など、今降雨がもたらした特徴的な斜面災害が生じています。本発表では、福岡県内の降水状況とそれによって生じた斜面・道路災害を観測データ、災害資料、現地調査に基づいて整理した結果について報告します。

長崎地盤研究会ミーティング:17:00~17:30

※ご参加いただいた皆さんに、建設系CPD協議会(地盤工学会)継続教育参加証もしくは測量系CPD協議会継続教育参加証を発行いたします。

※本勉強会は、オンライン形式で講演を行います。また、講演終了後はリアルタイムで質問のやり取りを行うことができます。  
お申込みについて:ご参加の方は、CPD発行のため、事前に下記宛先まで参加者全員のご氏名、ご所属、ご住所、お電話番号をご連絡ください。継続教育参加証は、後日学会支部よりお送りする予定です。

お申し込み先: 長崎大学大学院 工学研究科 システム科学部門 杉本 FAX:095-819-2627 E-mail:[s-sugi@nagasaki-u.ac.jp](mailto:s-sugi@nagasaki-u.ac.jp)

### ※お願い※

- ・オンラインで開催しますので、ご自宅もしくはみなさまのご職場からご参加願います。
- ・「ZOOM」を用いて行いますので、事前に使用されるPC、スマホなど機器に、あらかじめアプリケーションをインストールしていただきますよう、お願い申し上げます。
- ・当日は、13:00頃から大学側のPCを立ち上げて、ZOOMで接続していただけるよう準備いたします。上記の「会場」に記載しているURLからアクセスして下さい。
- ・職場で参加される場合は、1台のPCで複数の方に参加いただいてもかまいませんが、その場合は参加者の方々を確認させていただくことがありますので、ご協力お願い申し上げます。
- ・CPD発行を希望される場合は、必ず事前に**参加者全員の情報(ご所属・ご氏名・お電話番号・メールアドレス)**をお知らせ願います。